

平成28年度

ECOMO

交通バリアフリー研究助成

募集のお知らせ

募集期間：平成28年2月12日(金)～平成28年5月13日(金)

詳細はホームページ
をご覧ください。

<http://www.ecomo.or.jp>

交通バリアフリーに係わる先進的な調査研究や技術の研究開発を行う若手研究者等に対して助成を行い、交通バリアフリーの促進に寄与することを目的とします。

一般部門

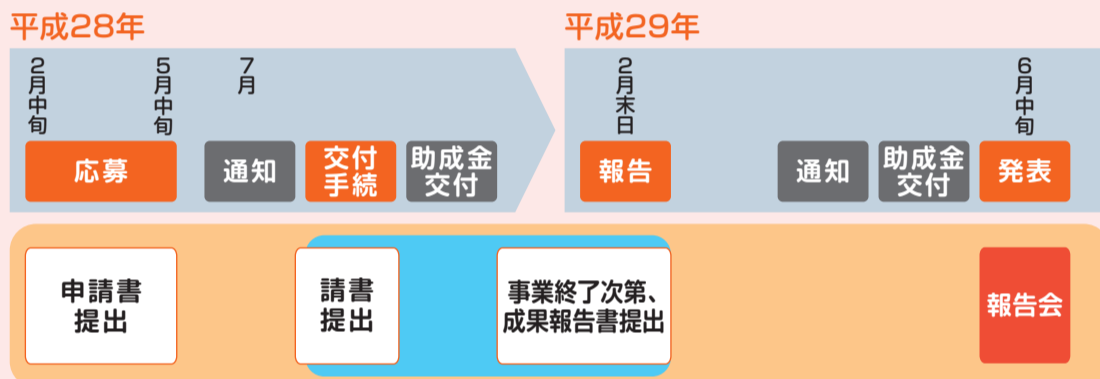
助成対象者

国内の大学院、大学、高等専門学校及びこれらに付属する機関の研究者または研究機関、企業等の研究者とします。ただし、他の団体等から助成を受けている、または受ける予定のもの(申請中または申請予定のものを含む)は対象となりません。

助成額及び調査研究・研究開発助成期間

- 1件につき原則として200万円以内。
- 20ヶ月を限度とします。なお、9ヶ月以上の場合は、中間報告を行う必要があります。

[助成期間]
9ヶ月未満
の場合



[助成期間]
9ヶ月以上
最長20ヶ月まで
の場合



- 助成対象及び助成予定額の決定は、財団内に設置した審査委員会により審査し、7月初旬頃通知する予定です。
- 助成期間は、最長で20ヶ月間で平成30年2月末日までです。

研究期間

※早めに終了は可。

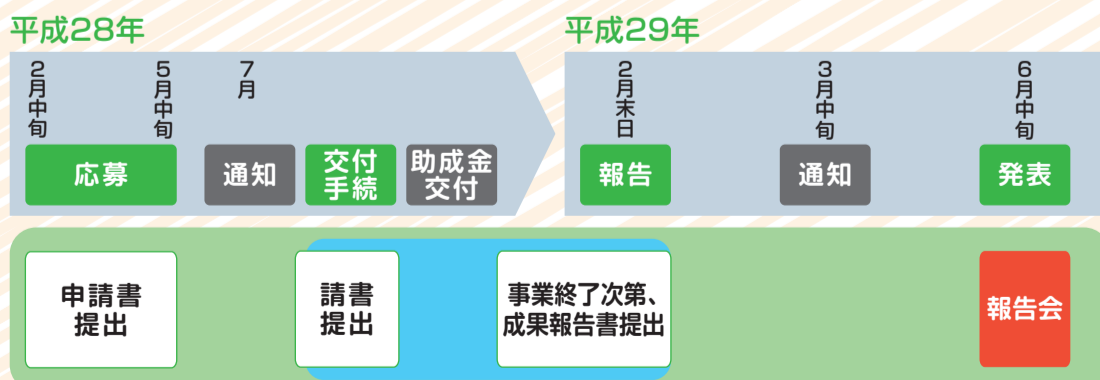
大学院生 研究生 部門

助成対象者

国内の大学院生、研究生等とします。ただし、他の団体等から助成を受けている、または受ける予定のものは対象となりません。原則として指導教員等との共同事業であることとします。

助成額及び調査研究・研究開発助成期間

- 1件につき原則として30万円以内。
- 8ヶ月を限度とします。



- 助成対象及び助成予定額の決定は、財団内に設置した審査委員会により審査し、7月初旬頃通知する予定です。
- 助成期間は、最長で8ヶ月間で平成29年2月末日までです。

研究期間

※早めに終了は可。

お問い合わせ先



公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団 バリアフリー推進部

〒102-0076 東京都千代田区五番町10番地 五番町KUビル3階 TEL.03-3221-6673 FAX.03-3221-6674

E-mail jyosei@ecomor.jp

※事業実施については4月以降に決定します。事業が実施されない場合もありますのでご承知おきください。

これまでのECOMO交通バリアフリー研究助成事業一覧

一般部門

平成20年度 (2008年)	視覚障害者への歩行空間提示を目的とした、感触の異なる床仕上げ材の識別容易性に関する研究	1年間
	視覚障害者の歩行特性分析に基づいたバリアフリー移動支援方法の提案	2年間
	パーキングパーミット支援システムの構築	1年間
	視覚障がい者を対象とした歴史的観光地における移動のバリアフリー化に関する研究	2年間
	まちのグッド アンド バッド プラクティス情報の共有・蓄積・継承によるクリエイティブ・commonsの育成	2年間
	ベビーカー利用者の視点から見た公共交通機関のバリアフリーに関する研究	1年間
	安全安心な歩行路面の確保に関する基礎的研究	2年間
平成21年度 (2009年)	車椅子ドライバーの運転行動を考慮したシートに関する研究	1年間
	安全な車いす降ろしのためのスロープ形状に関する実験研究	1年間
	歩行困難高齢者の外出支援のための電動移動補助機器の開発	2年間
	バリアフリー環境の整備効果/効用シミュレーションモデル開発のための調査研究	2年間
	子育て時の外出支援のためのバリアフリー施策に関する研究 ~子育てバリアの体系的整理~	2年間
	ハンドル形電動車いす使用者の走行空間に対する注視特性に関する基礎的研究	1年間
	都市型観光地におけるモビリティ・デザインのあり方に関する基礎的研究	2年間
	活動機会の確保水準に着目した広義のバリアフリー評価指標の開発と地域公共交通計画への利用法	2年間
平成22年度 (2010年)	ロービジョン者の都市・建築空間の移動における歩行パフォーマンスの指標化	2年間
	交差点横断部の視覚障害者誘導用ブロックに関する調査研究	1年間
	階段踊り場における視覚障害者誘導用ブロックの効果的敷設方法の研究	1年間
	利用者参加による交通システムの評価と、新しいコミュニティベースの交通システムの構築の可能性に関する基礎的研究	2年間
	介助・介護を必要とする旅行者支援策の充実と支援組織の全国展開に関する基礎的研究 ~全国自治体及び旅行支援事業者を対象とした事例研究~	2年間
	公共空間におけるサインと照明のバリアフリーに関する研究	2年間
	高齢者や要援護者の登板を考慮した津波避難計画の支援	1年間
平成23年度 (2011年)	駅のバリアフリーマップ(さわる地図)作成支援に関する研究	2年間
	災害による節電が視覚障害者の安全・安心に及ぼす影響と効果的な対応策に関する研究 ~節電(エコロジー)とロービジョン者の移動の安全確保(バリアフリー)の融合を目指した提言~	1年間
	バリアフリー基本構想における住民参加と住民意識の調査	2年間
	高次脳機能障害者が電車を利用する際の困難さに関する調査研究	2年間
	市民提案型バリアフリー基本構想の作成プロセス及び制度等の課題の基礎的研究	2年間
	首都圏鉄道駅における乗換利便性の経年変化分析と計画停電がバリアフリー喪失に与える影響	1年間
	子育て期の交通バリアフリーに関わる人材育成・普及啓発に関する研究	2年間
平成24年度 (2012年)	多文化共生社会の災害情報に対するバリアフリーモデルの構築	2年間
	肢体不自由者・視覚障害者の移動支援のためのバリアフリー情報共有基盤の開発	2年間
	道路交通環境下における知的障がい者の交通コミュニケーション能力の把握とその応用	2年間
平成25年度 (2013年)	搭乗拒否にみる航空アクセス権の合理的制限の範囲と手続	2年間
	災害時移動困難者・避難者支援のためのバリアフリー・シミュレーションゲームの開発	2年間
	災害公営住宅における高齢者の住生活支援の仕組みに関する研究	2年間
	舗装表面の輝度比と粗さの違いを利用した面誘導方式バリアフリー歩道の開発	2年間
	交差点における視覚障害者の横断支援のための歩行空間デザインに関する研究	2年間
	ユニバーサルデザインのまちづくりの実現に向けた継続的な市民参加の効果と成立条件に関する研究	2年間
	高齢者及びロービジョン者の視覚情報受容歩行の研究	2年間
平成26年度 (2014年)	異常検出技術による転倒の実態解明手法の開発	2年間
	地方部のタクシー事業における「非流し」「非駅待ち」のビジネススキームに関する実証研究	2年間
	公共交通機関等でベビーカーを利用する際の課題整理と改善策の提案 ~「人」「モノ」「まち」の3つの視点から~	2年間
	心のバリアフリーを推進するための組織とプログラムに関する研究	2年間
	視覚障がい者のための音サインを用いた屋外歩行誘導の研究	2年間
	過疎高齢地域におけるICTを用いた津波避難経路バリアフリー化の調査研究	2年間
	ロービジョン者・高齢者を考慮した路面サインの文字可読性およびサインシステムの検討	1年間
平成27年度 (2015年)	車椅子・電動車椅子の航空機輸送時の損傷を予防する用具開発	2年間
	競技場・スポーツ施設利用時のアクセシビリティ向上に関する研究	2年間
	旅客施設のない町での市民提案型バリアフリー基本構想策定の実践とその課題の検討	企画部門
	日本版Travel Training(交通移動支援プログラム)の開発 -知的障害児者における日常生活の移動に関するニーズおよび支援実態の把握-	2年間
	リニア中央新幹線開通に伴う駅周辺の再開発に関する調査研究 ~様々な立場から見たバリアフリー整備~	企画部門
	高齢者の外出・移動・公共交通アクセス及び身体活動に対するバリアフリー解消のための自転車活用の可能性に関する研究	2年間

大学院生部門

平成23年度 (2011年)	感触の異なる床仕上げ材による視覚障害者の誘導性能に関する研究 -誘導性能に関わる要因の定量化 災害時の帰宅困難者を安全安心に移動させるシステムの開発
平成24年度 (2012年)	エネルギー消費を抑えた駅の照明環境整備のための視環境評価実験と輝度画像による評価
平成25年度 (2013年)	津波災害時における自動車を利用した要援護者支援対策の有用性に関する研究 順応状態を考慮した駅の照明環境整備のための視環境評価実験と輝度画像による評価
平成27年度 (2015年)	子ども連れ世帯の交通行動及び保育送迎時の実態に関する調査研究